



2019年10月1日

各位

会社名：北海道中央バス株式会社  
代表者名：取締役社長 二階堂 恭仁  
(コード番号 9085 札幌証券取引所)

問合せ先：取締役 大森 正昭  
専務執行役員

TEL 0134-24-1111

## 特別損失(投資有価証券評価損)の計上に関するお知らせ

当社が保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、2020年3月期第2四半期において減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上する必要が生じたので、お知らせいたします。

なお、四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理にあたっては、四半期洗替え方式を採用しているため、2020年3月期においては決算期末の時価により、特別損失の計上額が変動する場合、もしくは特別損失を計上しない場合があります。

### 記

#### 1. 特別損失(投資有価証券評価損)の計上について

2020年3月期第2四半期会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)の投資有価証券評価損の総額 (=A-B)	325百万円
(A)2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の投資有価証券評価損の総額	325百万円
(B)直前四半期(2020年3月期第1四半期)累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)の投資有価証券評価損の総額	一百万円

※ 四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※ 当社の決算期末は、3月31日です。

#### 2. 今後の見通し

2020年3月期の業績予想につきましては現在精査中であり、業績予想の修正が必要と判断される場合は速やかに公表いたします。

以上